

株式会社文藝春秋 様

文春オンライン特集班 様 及び 『旭川 14 歳少女イジメ凍死事件 #1～#35』 の情報提供者 様  
書籍『娘の遺体は凍っていた 旭川女子中学生イジメ凍死事件』の著者 及び 情報提供者 様

## 捏造記事を削除して、謝罪文を掲載して下さい

2021 年 4 月に、文春オンラインが、遺族の証言を基に書いた「旭川 14 歳少女イジメ凍死事件」と題した記事、そして、同年 9 月、文藝春秋が、文春オンラインの当該記事を基に執筆した「娘の遺体は凍っていた 旭川女子中学生イジメ凍死事件」と題する書籍は、「憶測を招く捏造報道」と言わざるを得ないものでした。

その証拠に「文春オンラインに情報提供した遺族」の交際相手が『いじめ撲滅どっこむ』の普津澤氏に「文春の盛った話をこちらは否定しても週刊誌だから大丈夫的に流されただけでこちらが話した内容からはかけ離れた表現は多分に見られますよ。」とのメッセージを送っています。また、今津ひろすけ旭川市長の部下が流出させたと思われる『黒塗りが施されていない作成途中の報告書』には、①自分の障害を説明させて欲しいとお願いした女子生徒とその保護者、②デートの約束を理由に保護者の相談を断った学級担任、③死ぬから画像を消してくださいと訴えた女子生徒、④いじめの発覚を恐れて虚偽の説明をした男子生徒、⑤不特定多数に画像を拡散した男子生徒、⑥ 1 人の被害者の未来よりも 10 人の加害者の未来を優先する教頭、⑦いじめを隠蔽する為に謝罪の会の弁護士同席を拒否した校長の存在を否定する記載がありました。

この「憶測を招く捏造報道」により、2019 年に発生した学校事故の関係者やその他の旭川市民は、今も、深刻な人権侵害と風評被害を受けています。学級担任は心身の不調を来し休職を余儀なくされました。現職の教頭は、尊厳を踏み躪られるような勤務を強いられています。校長と関係生徒 A は職を失いました。関係生徒 B は、入学したばかりの高校を自主退学しました。無関係の少年二人は、犯人扱いされ、名誉を毀損されました。旭川市は、心ない人たちから「闇の街」などと呼ばれています。

### 【 要 望 事 項 】

1 以下の記事を直ちに削除することを求めます。

・旭川 14 歳少女イジメ凍死事件 #1～#35

2 以下の書籍を直ちに回収し、絶版にすることを求めます。

・娘の遺体は凍っていた 旭川女子中学生イジメ凍死事件

3 関係者及びその他の旭川市民に迷惑をかけたことを認め、文春オンラインに謝罪文を掲載することを求めます。

名 前 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_